



慶應義塾大学ビジネス・スクール

シーゲートテクノロジー (A)¹⁾

5

1998年の半ば、ハードディスクドライブ業界のリーダーであるシーゲートテクノロジー社は、不安定な業績に苦慮していた。1998年6月期（同社の会見年度は6月末）の売上高は、前年の\$8.8B から\$6.7B へ落ち込み、純利益も前期\$658M の利益から当期は\$530M の損失へと転落した。

10

「シーゲート社が CEO を突然解任」

ドーン・カワモト

CNET News. com スタッフライター

1998年7月21日 午後1時30分 太平洋時間

15

シーゲート・テクノロジー社は21日前、コンピューター用ディスクドライブの生みの親であり、同社CEOであるアラン・シューガート氏を解任し、現プレジデントのステファン・ルツツォ氏を後任のCEOに据える、と何の前触れもなく発表した。

20

発表された同社の声明文によれば、「当社の取締役会は、シューガート氏にリーダーシップを変える時期がやってきたと伝え、引退を要請した。」さらに、世界最大のディスクドライブメーカーである同社は、その創業者の一人であるシューガート氏が引退することにより、業績上の困難を経験した前期の運気を逆転させることに集中できる、と説明した。この声明文の中で、新CEOとなるルツツォ氏は、「当社はこれまで約4から5四半期の間、自社の競争上のポジションを改善するための様々な行動を取ってきた。これら一連の変革により、当社の長期的な競争ポジションは継続的に改善すると信ずる。」とコメントした。

25

昨年は、下落し続ける製品価格、コンピュータ売上げの低迷、そして全世界的な供給能力過剰にさいなまれ、ディスクドライブメーカーは後退を余儀なくされた。

30

1) 本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授岡田正大が公表資料に基づいてクラス討議のために作成したケース Seagate Technology を翻訳したものであり、経営の巧拙を論じるものではない（翻訳者岡田正大 2002年12月 第1稿）。